

La problématique de la « phénoménologie de l'idée de l'Infini » du point de vue de la « méthode » lévinassienne

Eriko SUENAGA (3)

「精神の証言」— ベルリン期ヘーゲルの宗教哲学的宗教史研究とヤコービ批判

下田和宣 (31)

イリヤの他者—レヴィナス的倫理の出発点

根無一行 (53)

ヤスパース『原子爆弾と人間の未来』における哲学と宗教

藤田俊輔 (70)

ショーペンハウアーの『意志と表象としての世界』第一巻における知覚の虚妄の問題

鳥越覚生 (88)

西谷啓治の宗教哲学における「体験の立場」の意義と位置づけについて

長岡徹朗 (107)

ベルクソン『試論』における「持続」の一と多

山根秀介 (127)

編集後記

(149)